

アセットオーナー・プリンシプルの受け入れについて

学校法人中村産業学園（以下「本学園」）は、アセットオーナー（資産保有者としての機関投資家）として、アセットオーナーの運用・ガバナンス・リスク管理に係る共通の原則（アセットオーナー・プリンシプル）に賛同し、受け入れることを表明します。

（目的）

原則 1.

アセットオーナーは、受益者等の最善の利益を勘案し、何のために運用を行うのかという運用目的を定め、適切な手続に基づく意思決定の下、経済・金融環境等を踏まえつつ、運用目的に合った運用目標及び運用方針を定めるべきである。また、これらは状況変化に応じて適切に見直すべきである。

- 本学園は、中長期的な財政基盤の強化を図るとともに、将来の教育研究の発展に資することを目的として資金運用を行っており、「資金運用規程」（以下「規程」）を定め、以下の運用の基本方針の下で、安全かつ効率的な資金運用を目指しています。

〔運用の基本方針〕

- (1) 元本の安全性を重視する。
 - (2) 原則として、満期日を設定できる預金等は満期日まで保有し、債券は償還日まで保有する。
 - (3) 特定の金融商品への集中を避け、分散して運用する。
 - (4) 資金繰りに支障を来さないように留意しつつ、資金配分を行う。
- 本学園は、規程に基づき、年次計画において具体的な運用計画を定めています。
 - 当該運用計画は、理事長のもとに設置された「資金運用委員会」での審議を経て、理事会で決定しています。

（体制）

原則 2.

受益者等の最善の利益を追求する上では、アセットオーナーにおいて専門的知見に基づいて行動することが求められる。そこで、アセットオーナーは、原則 1 の運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保などの体制整備を行い、その体制を適切に機能させるとともに、知見の補充・充実のために必要な場合には、外部知見の活用や外部委託を検討すべきである。

- 本学園は、財務部が資金運用にかかる業務を担当しています。
- 本学園の財務部は、資産運用・管理の経験を有する金融業務経験者など、専門的知識および経験を有する担当者および管理者を配置しています。
- 知見の補充・充実のためには、取引先である金融機関からの情報収集・意見等を定期的に受けている他、担当者および管理者は、運用に関するセミナー等にも積極的に参加しています。

（選択）

原則 3.

アセットオーナーは、運用目標の実現のため、運用方針に基づき、自己又は第三者ではなく受益者等の利益の観点から運用方法の選択を適切に行うほか、投資先の分散をはじめとするリスク管理を適切に行うべきである。特に、運用を金融機関等に委託する場合は、利益相反を適切に管理しつつ最適な運用委託先を選定するとともに、定期的な見直しを行うべきである。

- 本学園は、資金運用を外部へ委託せず、自家運用で対応しています。
- 当該体制の下、運用対象については、預金および国内外債券に加え、株式や投資信託等の金融商品を規程により定めています。

〔リスク管理〕

- 規程は、運用対象とする債券には格付け基準を定め、A格以上の債券を対象にしています。また、債券の種類や格付けに応じて保有限度額や運用期間を定めることにより、投資先の分散を図る体制としています。
- 運用対象のうち、現在本学園が保有する、外貨建債、株式、投資信託を「元本変動型商品」とし、全体の運用資金に占める保有比率を10%以下とする運用を行っています。
- 運用対象の格付け低下や、時価が下落（取得価額から30%以上）した場合には、「資金運用委員会」において、当該運用対象の売却可否等について審議を図る体制としています。

（開示）

原則 4.

アセットオーナーは、ステークホルダーへの説明責任を果たすため、運用状況について情報提供（「見える化」）を行い、ステークホルダーとの対話に役立てるべきである。

- 資金の運用状況については、毎年度公表を行うことで、ステークホルダーへの説明責任を果たします。

（行動）

原則 5.

アセットオーナーは、受益者等のために運用目標の実現を図るに当たり、自ら又は運用委託先の行動を通じてスチュワードシップ活動を実施するなど、投資先企業の持続的成長に資するよう必要な工夫をすべきである。

- 本学園は、グリーンボンド等での運用を通じて、投資先企業の持続的成長を支援していきます。

以上